

◇自由投稿コーナー◇

みんなの広場

ウズベキスタン共和国と

文化交流 八潮中学校

かつて中国からローマ帝国までを東西につないだシルクロード。

その要衝の地として栄えたウズベキスタンから、7月20日、モミノフ・バクチヨル（ウズベキスタン共和国文化教育国際交流協会連合会フェルガナ州支部会長）さんが八潮中学校を訪問され、生徒たちと文化交流が行われました。

ウズベキスタンでは、日本語を学ぶ、話したいという方々が多く、現地に開校する日本語センターの指導者に、鶴ヶ曾根にお住まいの青井時江さんが9月に赴き、日本語の指導にあたることになりました。今回は、そのセンターの責任者であるバクチヨルさんが、本市を表敬訪問し、併せて同校を訪れたものです。

バクチヨルさんは、体育館で剣道部の練習を見学し、日本武道に接するなど、生徒たちと楽しいひと時を過ごされました。



その後の歓迎式では、吹奏楽部がウズベキスタン国歌を演奏しました。バクチヨルさんは「国歌を演奏していただき、大変感動しました」と笑顔で話され、お礼に民族衣装をプレゼントしてくださいました。そして最後に、日本語センターで使っていたため、市長、教育長から日本語の国語や社会、理科などのテキストがバクチヨルさんに贈呈されました。

楽習館内に子育てひろばがオープン!



7月30日、やしお生涯楽習館内に「楽習館子育てひろば」が開設されました。子育て親子が気軽に集える場として、保健センター内のやわた子育てひろば（さくらんぼひろば）、八条公民館内のはちじょう子育てひろばに次いで市内で3番目の開設となり、オープニングイベントでは、エプロンシアターや手遊び、親子コンサートが行われました。参加した約120人の親子が、たのしいひとときを過ごしました。

古式にのっとり継承、二丁目の獅子舞



7月18日、二丁目の氷川神社の祭礼に獅子舞が奉納されました。獅子舞の始まりは明暦元年（1655）頃であると伝えられており、市指定民俗文化財（無形民俗文化財）に指定されています。この獅子舞は、埼玉県東南部系統に属し7種類の舞があり、かがむことが多いためか「田の草獅子」とも呼ばれています。舞の間には拝歌がうたわれ、さらに獅子宿で、場謡がうたわれるなど古式にのっとりた祭礼が継承されています。

八潮の夏だ!夜市だ!2010



7月30日・31日、市の魅力をアピールし、市の産業の振興や街のにぎわいを創出するため、八潮駅構内や南口公園予定地で「八潮の夏だ!夜市だ!2010」が開催されました。会場では、八潮駅開業5周年記念のイルミネーション点灯式や真夏の夜のステージライブ、わくわく縁日コーナー、八潮市特産品・推奨品の販売、地元新鮮野菜の販売、枝豆感謝祭などが行われ、来場した約3万1千人の皆さんは、八潮の夏の夜を満喫していました。

おいしい野菜の収穫体験



7月17日、強い日差しが照りつける中、「夏野菜旬採り合戦」が開催され、20組41人の方が参加しました。とうもろこし、トマト、きゅうり、そして小松菜。すべてビニールハウス内に栽培されており、暑い中での収穫作業となりましたが、暑さを忘れて収穫を楽しんでいました。収穫の後は、採れたての枝豆やとうもろこし、冷やしトマトなどを試食し、「どの野菜も甘〜い!」とうれしそうな声が聞かれ、作業の心地良い疲れと暑さを吹き飛ばしていました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、9月10日（金）です。